

日本工学教育協会、工学教育賞（業績部門）、受賞所感

代表者：連健夫（JCAABE 代表理事）

表題：JCAABE まちづくりファシリテーター養成講座実施委員会

「建築系まちづくりファシリテーター養成講座」の開発と実践

この度は、日本工学教育協会、工学教育賞（業績部門）を賜り、大変光栄に存じます。JCAABE 日本建築まちづくり適正支援機構は良質な建築・美しいまちづくりを目指して設立された一般社団法人です。2017年にまちづくりに関わる建築家・建築士を増やすべく、セミナーと認定まちづくり適正建築士の資格を設けました。まちづくりにおいて、市民・住民と専門家・行政を繋ぐまちづくりファシリテーターは大切に、その人材育成が求められています。2019年～20年に文部科学省の委託事業として「まちづくりファシリテーター養成講座」の開発と実践を行いました。今では8校の専門学校で実施すると共に、大学でも研究室単位で採用されるようになってきました。これを2021年から開かれた形で誰でも受講できるよう社会人、学生向けのオンラインプログラムを用意しました。ご協力いただいた関係者の方々に心から感謝申し上げます。

この養成講座の特徴としては、

- ① 建築デザインや都市計画系科目、修復・防災、不動産やエリアマネジメント、合意形成など幅広い履修内容。
- ② 半分を座学、半分を実践（見学、演習、ワークショップ）での全30コマで構成。
- ③ まちづくりフィールドワークショップは、スマホの画像映写での調査を行い、講習会では行政の方等も参加した。
- ④ 全30コマを一年間、半年で履修する、夏休み等で集中履修するカリキュラムなどの様々なメニューを用意。
- ⑤ 教科書は、初学者も理解しやすいよう漫画を入れ、「建築系まちづくり入門」（学芸出版社）が出版した。
- ⑥ 履修科目は動画を用いて、オンデマンドで受講できるよう配慮し、様々な授業形式に対応できるよう工夫した。
- ⑦ オンラインを用いて、離れた学校との合同授業が可能となり、地域性も含めた学びの機会が生まれている。
- ⑧ 履修完了の受講生には履修証の発行をすると共に、希望すればJCAABEの準会員として登録ができるようにした。
- ⑨ 登録まちづくりファシリテーターは、2年の実務と一級建築士の取得により、認定まちづくり適正建築士を取得できるキャリアストーリーを設けた。